



より安全な食物経口負荷試験を目指して

食物アレルギーは年々増加しており、2014年には東京都の3歳児調査において16.7%であったと報告されています。

食物アレルギーではないお子さんでも血液検査が陽性になることが多く、実際食べてみないと食物アレルギーを正しく診断できません。また、以前に食物アレルギーと診断されても、多くのお子さんは成長とともに食べられるようになります。食物アレルギーでは、「必要最小限の除去」が基本であり、原因食物を「食べられる量の範囲内で食べていく」ことが必要です。

このため、食物アレルギーの診断やどの程度食べられるようになったのかをみていくために「食物経

小児科 **和田 拓也**



口負荷試験」を行う必要があります。しかし、食物経口負荷試験は重篤な症状が出現する可能性があるため、当院では年齢、病歴、検査所見などを参考に入院（基本的には日帰り）でより長い観察時間をおいて行っています。また、観察時間を利用して栄養指導や薬剤指導も積極的に行っています。

血液検査陽性や摂取したことがないため、完全除去が続いている、原因食物の診断が難しいなどお困りの患者さんがいらっしゃいましたら、お気軽にご紹介いただければ幸いです。

◆小児科（受付時間 8時30分～11時30分 午後は、要連絡）

外来担当	月	火	水	木	金
1診 午前	牛 尾	和 田	牛 尾	和 田	牛 尾
2診 午前	和 田	牛 尾	和 田	牛 尾	和 田
午前 (予約再診)	—	—	神経 (第2,4水曜 山谷)	—	—
午後 (予約再診)	—	(アレルギー) 和田	乳児健診 予防接種	—	1か月健診
	循環器担当医師	—	小児外科 (第3水曜のみ)	—	—
	—	—	神経 (第2,4水曜 山谷)	神経 (第3木曜 八木)	—

予告

地域連携症例検討会

日時：11月10日（火）19：00～20：15 場所：当院3階 講堂



1) 症例検討

①『ステロイド剤外用で軽快した壊疽性膿皮症の2例』

皮膚科 野村 佳弘

②『発熱外来の受診を契機に診断された心臓原発悪性リンパ腫の1例』

循環器内科 栗田 康寿

2) ミニレクチャー：「外傷・創傷治癒について」

形成外科 宮下 松樹

形成外科は病気で失われた身体の形、醜形を整える外科の一分野であり、体表面の外傷、創傷治癒の専門科です。いかに早く治すか、いかに跡を目立たなくするか、可能な限り患者の生活レベルを維持できる状態での社会復帰を目標としています。

外傷・創傷の原因としては、従来交通事故によるものが多かったものの近年は減少傾向です。一方、富山県では最近熊の出没報告などが多く見受けられ、昨年は20人以上の人が襲われています。いずれにせよ、怪我はなくなることはありません。

傷を治すのは、患者自身の自然に備った治癒能力ですが、形成外科ではこの自然治癒力の邪魔となる阻害要因を取り除くことで、より積極的な治癒を促進することができます。また、分子生物学の発達につれこの分野が脚光を浴びようになり、ここ10年ほど、分子生物学的な面からの創傷治癒学が発展しました。今回のミニレクチャーでは、形成外科的な治療の内容ならびに当院での取り組みについて説明します。

※定例の研修会、看護研修、衛星研修S-QUE視聴研修

当面の間、開催を中止いたします。

衛星研修S-QUE研修の資料をご希望の方は、ふれあい地域医療センターへご連絡ください。

S-QUE Eナース

○配信期間 11月9日～12月7日

脳科学から紐解く認知症ケア

○配信期間 11月24日～12月22日

せん妄を防ぐ！治す！予防的対策とケア





研修医のひとりごと

臨床研修医
東 晃太郎



こんにちは。初期研修医2年目の東です。

あっという間に1年半が経過し、研修医生活も残すところ半年となりました。研修医の生活は、1～2ヶ月単位で診療科をローテーションしていきます。診療科が変わるたびに勉強する内容が変わるのはもちろんのこと、指導医や周囲の看護師さんなどの医療スタッフも変わるので、そのたびに新しい人間関係がスタートします。働き始めの何も分からない時期は、周囲の環境が目まぐるしく変化し、医療スタッフとのコミュニケーションに苦勞しました。精神的にストレスがかかることもありましたが、苦しい時こそ自分が成長するチャンスだと前向きに捉えました。

次第に自分で出来る事が増え、少しずつ仕事に楽しさややりがいを感じられるようになりました。長い医師人生の基盤となる研修医の時期に、多くの学ぶ機会、環境を与えてくれる当院には感謝の心でいっぱいです。

今までは研修医という立場でしたが、来年以降は患者さんの主治医として自分で治療方針を決定するなど責任が大きくなります。一人でも多くの患者さんを元気にできるように、日々精進していきたいです。今後は皮膚科医として、富山県の医療に微力ながら貢献したいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いたします。

医師不在のお知らせ

※外来担当日の休診のみ掲載

11月

科名	医師名	不在日	科名	医師名	不在日
内科	寺崎敏	6日	皮膚科	野村	30日
	大田聡	9日、27日		北野	16日、17日
	打越	19日	産婦人科	齋藤真	2日
	水野	6日、20日、25日	小児科	牛尾	24日
	本江	4日、13日	眼科	山田	2日、30日
脳神経外科	山野	2日	耳鼻いんこう科・頭頸部外科	辻	4日
呼吸器・血管外科	武内	27日		杉本	10日
麻酔科	松浦	6日	歯科口腔外科	寺島	9日
精神科	長谷川雄	20日		朝倉	2日

※その他、急に不在となることがありますので、ふれあい地域医療センターまでお問い合わせください。 TEL 076-422-1112 (代) 内線2168

編集後記

秋冷が爽快に感じられる、いい季節をおかえました。楽しみにしていた運動会や学習参観も今年はコロナ禍での開催となり、子供の勇姿を見ることなく過ぎてしまいました。病院でも今まで当たり前に出ていた面会が制限され、患者・家族の皆さんは不安な気持ちを抱えながら闘病されていると思います。地域連携室に配属となり半年ですが、患者家族の気持ちを十分に拾い上げ、満足していただけるような退院調整を心がけていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

ふれあい地域医療センター 杉森 裕子



作：病院ボランティア 篠崎 佳子

「れんけいと支援」に関するお問い合わせは、ふれあい地域医療センターまでご連絡ください。送付を希望されない方はお申し出ください。

TEL 076 (422) 1114 / FAX 076 (422) 1154
メールアドレス fureairenkei@tch.toyama.toyama.jp



ホームページ <http://www.tch.toyama.toyama.jp/> がん何でも相談室：メールアドレス shien@tch.toyama.toyama.jp